

2024 年度 事業報告

施 設 名 幼保連携型認定こども園 みどり野保育園

施設長名 中田 一夫

種 別 保育所

設 立 1979 年 4 月

認 可 2022 年 4 月 1 日 認可

2025.4 作成

*2024 年度事業計画に対する評価

2024 年度は 0 歳児入所が年間通して 1 名であった。2025 年度も 4 月現在 2 名となっている。尼崎市全体でも待機児童近年一桁となった。少子化、育児休業の定着、新規園の創設など益々入所児童が減少していくことが予想され、安定した経営を維持していくことが難しくなりつつある。

そんな中でも子育てに不安抱える家庭や発達特性を持つこどもの受け入れニーズは根強く存在する。現在の異年齢保育や発達特性を持つこどもへの保育の充実に加え、保育ソーシャルワークの質的向上が必須となっている。また、ベトナム、中国など外国籍のこどもが少しずつ増えてきているため、外国語支援が必要となってきた。

2024 年度は尼崎市就学全教育課から要請があり公開保育を実施した。竹谷地区校園所から小学校、市立幼稚園、公立保育所、認定こども園、19 施設の校長、教師、園長、保育士などがあつまり、就学前のアプローチ時期の教育について話し合う場を持つことができた。幼保小連携推進に今後も寄与したい。

尼崎教会の榊田牧師には今年度も毎週金曜の礼拝を守っていただいた。教会のバザーと当園の秋祭りを合同で開催することができた。2025 年度も継続予定である。協働している教会のこども食堂も 3 年目に入った。

- 1) 「理念」: 2024 年度の年間聖句及び年主題も昨年と同様、保育士全員で考えた。理念に基づく保育実践を意識し共に研鑽に励んだ。
- 2) 「人財」: 副園長、主幹教諭 2 人の体制の下、安定した保育運営がなされている。大きな環境整備は全て完了したので、2025 年度も外部研修等の参加を促進し次世代の体制づくりに力を注ぐ。
- 3) 「施設・環境」: 地域のみどり野緑化委員会と共に園庭、隣接する公園に毎年、花が咲き誇るようになり、地域の注目されるようになってきた。
- 4) 「保育」: 環境整備が進み、担当保育、異年齢保育は安定しているが、発達特性のある子どもへの対応に、年々保育士の資質が向上しているが、小学校への円滑な引継ぎについて教育委員会と継続的に協議を行っている。
- 5) 「経営」: 年間通して定員 66 名に対して平均 70.6 名で推移し 1 号認定の増加や療育加算が加わり 2,300 万円程度の積立を行った。

1. 事業運営の概況

園児定員	クラス数	保育時間			
		通常保育	早朝保育	延長保育	休日保育
66 (内 1 号 6)	4	7:00~18:00	なし	18:00~19:00	なし

2. 保育実績

① 在籍園児数

月	保育 日数	在 籍 園 児 数							障害児・一時・休日・特例保育等の 1 日平均利用人数
		0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計	
4	25	1	12	12	15	11	18	69	療育加算対象児: 16 名
5	23	1	12	12	16	11	18	70	
6	25	1	12	12	16	11	18	70	
7	26	1	12	12	16	12	18	71	一時保育利用児: 実施していない
8	26	1	12	11	16	12	18	70	
9	24	1	12	12	16	12	18	71	休日保育利用児: 実施していない
10	26	1	12	12	16	12	18	71	
11	24	1	12	12	16	12	18	71	延長保育利用児: 平均 3 名

12	24	1	12	12	16	12	18	71
1	23	1	12	12	16	12	18	71
2	22	1	12	12	16	12	18	71
3	25	1	12	12	16	12	18	71
計	293	12	144	143	191	141	216	847
<p>〈結果〉</p> <p>1) 2023 年度の年間の延べ在園児数は 842 名に対して 2024 年度は 847 名と若干増</p> <p>2) 療育加算対象児が 16 名在園（昨年度 14 名）</p> <p>3) 延長保育利用者 3 名（昨年度 3 名）</p>								

② 職員構成（年度末時点、上段に実数、下段に最低基準を記入）

常勤職員							非常勤職員					合計
施設 長	副園 長	主幹 教諭	保 育 教諭	調理 員	そ の 他	計	保育士		その他		計	
							常勤並	短時間	調理員	事務員		
1	1	2	8	(1)		13	1	2	(3)	1	7	20
1	1	2	7	1		12						
<p>〈結果〉</p> <p>産休中が 2 名いたが、新卒 1 名、一麦保育園から 1 名異動で乗り切ることができた。</p> <p>＊（ ）調理員は委託先職員数</p>												

3. 園児の処遇実績

イ) 健康管理

定期健康診断			測定・検査など		
診療科	実施月日	備考	内容	実施月日	備考
内科	5 月 31 日、10 月 22 日		身体測定	毎月 1 回	
歯科	5 月 23 日		尿検査	なし	
眼科	6 月 26 日		予防接種	なし	
耳鼻科	6 月 19 日		その他	なし	

ロ) 栄養管理（食事・おやつの取組み）

- 1) 一富士フードサービス（株）と委託契約 10 年目に入り安定した給食提供ができています。
- 2) 給食だよりをさらに充実させ食育等の啓発に努めた。（毎月 1 回）
- 3) 給食会議を定期的に開催し、園行事などの協力関係は安定している。
- （イースター、クッキング、収穫感謝、もちつき、など）

ハ) 年間行事

月	実施内容	保護者会活動
4	入園説明会、イースター礼拝	役員会
5	4・5 歳児親子遠足（甲子園浜へ磯遊び）創立記念日、個人懇談 県立尼崎高校との交流（幼児歳児）、エコロコ自然体験（葉っぱ遊び）	書面での総会
6	花の日礼拝、歯磨き指導、総合防災訓練	役員会
7	プール開き すいか割り、交通安全指導	
8	プール遊び、	
9	5 歳児キャンプ、中央中学トライやるウィーク受け入れ	
10	運動会 芋掘り遠足（4・5 歳児） 芋ほり体験（2・3 歳児親子遠足） 5 歳児個人懇談、かめ親子触れ合い会	運動会の参加賞配布、役員会
11	収穫感謝礼拝、秋祭りバザー（教会と協働）焼き芋パーティー、 総合防災訓練、	秋祭りバザー
12	アドベント礼拝、クリスマス会、	クリスマスプレゼント配布
1	5 歳児「廃線ハイク」、もちつき、5 歳児小学校巡り、0～4 歳児懇談	
2	就学前合宿保育、新入児面接、豆まき、幼児親子ディ	役員会（新役員の選出）
3	お別れ会 卒園式	卒園児へのプレゼント配布 保護者会から寄付あり
<p>＜毎月の行事＞</p> <p>幼児グループ礼拝(毎週)、身体測定、幼児おべんとう、誕生会、避難訓練、 コスモ運動遊び月 2 回（3, 4, 5 歳児）、9 月から音楽リズム遊び月 2 回（幼児グループ）</p>		

<結果と考察>

キャンプは猛暑を避け9月下旬に実施。生活発表会からこどもの主体性を重んじた幼児親子ディを開催。尼崎教会との共催で、秋祭りバザーが開催されたことは意義深い。次年度以降も継続したい。

ニ) 安全管理

火 災	・6月18日、11月27日総合防災訓練実施 消防用設備点検年2回
地 震	・地震想定避難訓練 ・防災関連緊急連絡のためメールの一斉配信ができる体制にある。
津波・浸水	・津波想定避難訓練 避難場所の確認
防 犯	・不審者想定避難を職員で共有 ・玄関オートロック・夜間侵入警戒センサー
衛 生	・各クラスに加湿・空気清浄器 乳幼児トイレにペーパータオル（フォルダーを設置） 防虫除虫消毒年2回実施 ・コロナ及びインフルエンザ感染予防の為アルコール消毒液の配置
防災備品	○各クラスに非常用持ち出しリュック配備、○事務所に置き型ライト（乾電池） ○乳児保育室に液体ミルク（24×3 ケース）、使い捨て哺乳瓶（5×3） ○屋上に防災備品保管用倉庫設置 ・置き型ライト、懐中電灯・水用堀ポリタンク（200×2）・水（20×18本） ・非常食（3日分、米、ビスコ他）・紙コップ（40個）使い捨ておわん（50個） ・ビニール袋、手袋、ウェットシート、ラップ ・ポータブル投光器・ソーラーは圧電気、カセットボンベ発電機、トイレ凝固剤 ・紙パンツ・ベットシート、拡声器 ○園庭に乳児用避難車、おんぶ紐 ○その他、アクアリブ（消毒液）、AED、寝袋、斧、鉋、バール
救急講習会	新人2名受講（窪田、大村）

ホ) 賠償保険等の加入状況（利用者対象）

保険種別	会社・団体名	補償内容（金額）
施設賠償責任保険	全国私立保育園連盟	対人1名10億円 対物1事故1,000万円 死亡共済付 保育者賠償責任特約付
園児団体傷害保険	全国私立保育園連盟	死亡・後遺障害215万円 入院2,250円 通院1,500円
災害共済	日本スポーツ振興センター	負傷、疾病（医療費の療養に要する費用の4/10） 後遺障害見舞金（88万円～4,000万円） 死亡（最大3,000万円）
火災保険	あいおいニッセイ同和損保	建物1億円 備品・計器類1,000万円
行事参加者傷害保険	A I G 損害保険	死亡・後遺障害3,501千円 入院4,500円 通院3,000円

4. 職員処遇の実績

イ) 職員の健康管理

- 1) 定期健康診断 年1回、検診内容（胸部X線、血液検査、血圧、尿、心電図、問診他）
- 2) 検便：栄養士・調理員 年24回、保育士（乳児・かめぐみ0・1歳担当） 年12回
- 3) インフルエンザ予防接種 奨励のみで義務化はしていない。接種費用を全額園負担

ロ) 労務管理

- 1) 1ヶ月単位での変形労働制が定着している。
- 2) 夏季賞与1.8ヵ月、冬季賞与2.0ヵ月支給
- 3) 処遇改善Ⅰは期末に1.4ヵ月一括で支給。2023年度人事院勧告5.2%UP分は6月に支給した。
- 4) 有給取得はすべて職員が5日以上消化した。

ハ) 職員会議（高齢除く）

内容	実施回数（開催時間）
職員会議 運営全般 行事計画反省等	月1回（2時間）
乳児（各クラス かめ・べんぎん）・幼児担当者会	月1回（1時間）
保育士ミーティング	月1回（2時間）
給食担当者会	月1回（30分）
リーダー会	週1回（90分）

ニ) 研修実績（イエス団含む）

No.	研修名	主催者	研修内容	開催時期	参加者
1	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	新任保育士のための乳児保育研修	4/20	難波
2	新任保育士研修	日本キリスト教保育所同盟	新任保育士研修会	5/15～5/17	難波
3	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	乳児保育育児とあそび	6/20～全5回	佃
4	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	乳児保育人的環境	6/12～全6回	窪田
5	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	2歳児クラス	5/22～全5回	長谷川
6	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	幼児の遊び	4/23～全6回	安藝
7	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	環境認識	4/25～全7回	小島
8	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	乳児保育	5/18～全4回	長橋
9	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	わらべうた	5/29～全6回	増本、難波
10	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	体育ゼミ	5/11～全8回	中村、不破
11	保護者支援	尼崎法人保育園会	保護者との対話の持ち方・話の聞き方	5/22	長橋
12	うんどう遊び	尼崎法人保育園会	実技	6/14	小島
13	災害対策	尼崎法人保育園会		6/20	安藝
14	こどもの人権を守り進める保育活動	尼崎法人保育園会		7/25	窪田
15	全体研修	尼崎法人保育園会	幼児の音楽遊び、歌・楽器あそび	9/6	保育士
16	研修会	兵庫キリスト教保育園協議会	新任職員研修会	6/1	金沢、難波
17	療育紹介および事業説明会	尼崎市立たじかの園		7/17	安藝
18	イエス団研修	イエス団	リーダーシップ養成研修ステップⅠ	9/12～14	長谷川
19	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	乳児保育	7/20、7/27	難波
20	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	乳児保育	11/23、12/14	長橋
21	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	食育・アレルギー対応	8/3、8/17	増本、窪田
22	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	保護者支援・子育て支援	9/7、9/21	佃
23	施設支援講座	尼崎市立たじかの園	構音障害（発音の誤り）の基礎知識と指導法～カ行を中心に～	9/4	長谷川
24	施設支援講座	尼崎市立たじかの園	事例を通して考えるこども理解、保護者理解	9/2	難波
25	施設支援講座	尼崎市立たじかの園	発達を支える運動遊び～体幹機能との関わりと遊びの実際～	11/12	難波
26	職員研修	兵庫キリスト教保育園協議会	讃美歌研修～日々の礼拝の中で～	9/6	小島
27	給食室研修	杉の子保育園		10/29	竹崎
28	施設長研修	イエス団	経理規程を学ぶ	9/26	田中
29	日本キリスト教保育所同盟園長研修会	日本キリスト教保育所同盟	宮古島フィールドワーク現地研修他	10/21～10/23	中田
30	日本キリスト教社会福祉学会海外研修	日本キリスト教社会福祉学会、韓国キリスト教社会福祉実践学会	韓国史、韓国キリスト教社会福祉の歴史	9/2～9/7	中田

31	第64回日本キリスト教社会福祉学会大会	日本キリスト教社会福祉学会	変革は、弱いところ、小さいところ、遠いところから	6/21～6/22	中田
32	夏季保育大学 in 兵庫	日本キリスト教保育所同盟	こども ○ しあわせて	8/21～8/23	中田、増本
33	職員研修	兵庫キリスト教保育園協議会	子どもたちと心に残るクリスマスを迎えるために	11/13	難波
34	保育所職員専門研修	尼崎市こども青少年局	保育現場における保護者支援について	10/22	小島
35	保育所職員専門研修	尼崎市こども青少年局	不適切な養育を疑われる子どもやその保護者への支援について	12/20	鈴木
36	職員研修	兵庫キリスト教保育園協議会	ミッションステートメントの学びを深める	1/31	小島
37	リーダーシップ研究ゼミ	日本キリスト教社会事業同盟	リーダーシップ研究ゼミ	11/14～11/16	小島
38	給食施設情報交換会	尼崎市保健所	こどもの育ちを支える食～食育計画の作成と評価	1/28	竹崎
39	幼保小接続カリキュラム研修講座	尼崎市	小学校での学びを支えることばの力と幼保小連携	2/18	小島
40	JB 兵庫ブロック公開保育	友愛幼稚園	公開保育	1/27	難波
41	JB 兵庫ブロック公開保育	友愛幼稚園	公開保育	1/14	佃
42	新任職員研修	イエス団本部	新任職員研修	3/24～3/25	高橋
※()以外は保育士					
<結果と考察> 上記研修の他、他園見学（八木保育園等）を積極的に行い現場での保育に役立てた。2023 年度から処遇改善Ⅱに関してはキャリアアップ研修受講が必須となっているため、引き続き意識的に受講を促した。					

ホ) 福利厚生<退職共済制度（機構・府県・市）、福利厚生制度等>

- ・社会福祉施設職員等退職手当共済制度（福祉医療機構）
- ・労基法の改正に基づく就業規則の変更は随時行った。
- ・業務災害総合保険（A I G 損害保険）：死亡・後遺障害 1,000 万円 入院 5000 円/日 通院 3,000 円/日

5. 子育て支援・地域との交流の報告

月	子育て支援センター	月	地域交流との交流
4		4	尼崎教会こども食堂「マンナ」（毎月第4土曜）
5	子育て相談を随時受付、園見学を随時受付	5	県立尼崎高校「教育と絆」幼児と学生の交流
6	〃	6	花の日にちなみ、園医さんに花を届ける みどり野花まち委員会による苗植え
7	〃	7	
8	〃	8	
9	〃	9	尼崎市立中央中学校トライやるウィーク
10	〃	10	難波の梅フェスティバル、あまっこ交流会に参加、5 歳児
11	〃	11	秋祭りバザーに参加、みどり野花まち委員会による苗植え
12	〃	12	教会でのクリスマス会
1	〃	1	もちつき（園児のみ）、教育委員会主催竹谷地公開保育の実施
2	〃	2	
3	〃	3	
その他 ・「阪神特別支援学校」2 回、「いくしあ」 ・園見学を随時			

6. 施設・設備の整備の実績（項目、金額、実施月等、10万以上記載）

整備名称	金額	勘定科目	財源	実施月
減価償却システム	250,800 円	ソフトウェア	給付費	6 月
リパーブロックカバー（屋上）	109,780 円	器具及び備品	給付費	8 月
幼児ままごとキッチン（ナガサワ）	324,500 円	器具及び備品	給付費、県補助金	8 月
ブラフォーミング A セット	121,000 円	器具及び備品	給付費、県補助金	9 月
ブラフォーミング DX セット	230,000 円	器具及び備品	給付費、県補助金	9 月
小計	1,036,080 円			

* 固定資産台帳に乗らない消耗品も掲載した。

* 県補助金は 215,000 円であった。

7. 会計決算の状況

1) 主な収入

事業活動収入 143,475 千円（昨年度 134,457 千円）9,018 千円増

＜内、障がい児保育事業補助金 13,826 千円（昨年度 12,110 千円）1,716 千円増

人勸 up 分（10.6%）866 千円

2) 主な支出

人件費支出 93,572 千円（昨年度 89,752 千円）3,820 千円増 （人勸 up5.2%）

業務委託費 9,811 千円（昨年度 9,460 千円）351 千円増

研修費 739 千円（昨年度 686 千円）53 千円増（学会大会等）

保育備品・減価償却システムの更新等 1,036 千円増

3) 収支差

年間を通して定員 66 名に対して約 70 名を推移。0 歳児も定員 6 名に対し 1 名であったが、障がい児保育事業補助金対象が 16 名、1 号認定 6 名定員に対し最終 6 名。人勸 10.6%up などの収入が増えた。

事業活動収支が 25,461 千円（昨年 20,561 千円）あった。昨年より 4,900 千円増。人勸 UP を含め、人件費が膨らんだが保育事業収入も相当分増えた。結果、23,000 千円を保育所施設・施設整備に積立てを行った。結果、当期末資金収支差額は 760 千円となった。

8. その他

1) 幼保連携型認定こども園への移行 3 年間目、1 号認定は 6 名であった。次年度は定員 6 名から 9 名に増やす。

2) 外部評価の必要性を感じていたため「施設関係者評価」をよい子ネットを利用し今年も行った。

概ね高評価であったが、回答率が低かった。その結果を HP に掲載した。

3) 人財確保については新卒 1 名、異動職員 1 名が加わり必要保育士数を確保できた。

2025 年度は産休中職員が 1 名復帰、1 名学校法人に出向させた。

4) 株) フロムエイジに UTM の導入、パソコンを 5 台新調、保守メンテナンスをリースでお願いした。